

【患者さんの入院生活～高次脳機能障害～】

入院されている様々な障害の患者さんのリハビリの例をご紹介します。

Cさん・高次脳機能障害が中心の患者さんを想定、入院3か月目です。

Cさんは、40歳男性、交通事故による外傷性脳損傷。体に麻痺はなく、新しい事や予定を忘れてしまう、気が散りやすい、誰かからの指示がないと次の行動ができないといった高次脳機能障害の症状があります。妻や子どものためにも復職を目指しています。

日課



退院後の目標は、復職や新規就労等それぞれ異なりますが、まずは生活の安定が大事になります。必要に応じて、関係機関との連携を図りながら地域の社会資源を利用したり、外来での職能訓練を受けたりする方もいらっしゃいます。